

はばだけり！ JTサンダーズ広島



竹田 英司

広島で開催されたバレーボール男子のワールドカップ（W杯）を選手と観戦した。日本代表として戦った小野寺太志選手は大会を通して活躍し、知名度も上げてチームに戻ってきた。

「すっかり人気者になって、小



茨城国体のバレーボール成年男子で準優勝に終わったJT広島の選手

◎ 茨城国体 準優勝残念

野寺選手が遠い世界に行った気分だ」。私が小野寺選手にそう声を掛けると、「僕は何も変わっていないですよ。いつでも身近な存在です」と苦笑。さらに「竹田さんは相変わらず工場長みたいな雰囲気ですね。何を作っているんですか」と冗談を言われたので一瞬考え、「もちろん優勝だ」と答えた。

「優勝」という商品を作るために頑張ったつもりだが、JTサンダーズ広島が広島県代表として挑んだ茨城国体は成年男子で準優勝に終わった。体調を崩す選手もいたし、宿舎と会場が遠かったなど、言い訳をすればきりが無い。苦難を乗り越えて勝ちました、と書けないのが残念でならない。

私もしばらく体調を崩した。選手たちは「竹田さんの代わりはいないんですから、早く元気になってください」と声を掛けてくれた。私に元気がないと、チームに活気が生まれないようだ。JTサンダーズ広島にとって、太陽のようなマネジャーでありたい。

（JT広島マネジャー）